

ラムダプロテインホスファターゼ (GST)、組換え

Cat. No. NATE-0856

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

プロテインホスファターゼ1Fは、ヒトにおいてPPM1F遺伝子によってコードされる酵素です。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PP2CファミリーのSer/Thrプロテインホスファターゼのメンバーです。PP2Cファミリーのメンバーは、細胞ストレス応答経路の負の調節因子として知られています。このホスファターゼは、Rho GTPaseと相互作用し、Rho GTPaseの下流で生物学的効果を媒介するプロテインキナーゼであるp21活性化キナーゼ1 (PAK) の効果をブロックすることができます。カルシウム/カルモジュリン依存性プロテインキナーゼIIガンマ (CAMK2G/CAMK-II) は、このホスファターゼの基質の一つであることがわかっています。このホスファターゼまたはCAMK2Gの過剰発現は、カスパーゼ依存性アポトーシスを媒介することが示されています。代替スプライシングされた転写産物のバリエーションが同定されていますが、その完全長の性質はまだ決定されていません。

用途 ホスファターゼアッセイ

別名 プロテインホスファターゼ 1F; PPM1F; CAMKP; CaMKase; FEM-2; POPX2; hFEM-2; ラムダプロテインホスファターゼ; λ-Ppase

製品情報

由来 大腸菌

純度 グルタチオンアガロース親和クロマトグラフィー

保管・発送情報

保存方法 -70°Cで6ヶ月